



## つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 120号 2010.8.10 発行 社会政策研究所

「たん吸引」「経管栄養」が障害福祉の現場、入所支援の事業所だけでなく生活介護やケアホームなどの業務となりそうです。その研修会が10月にもモデル的に実施されるようです。

また、京都や韓国釜山での就労支援のニュースもお伝えします。【kobi】

### 在宅、障害者施設に拡大へ = 介護職医療行為 - 厚労省検討会

時事通信 2010年8月9日

介護職員に特例的に認めた「たん吸引」などの医療行為の法制化を協議する厚生労働省の有識者検討会は9日、対象施設を現行の特別養護老人ホーム（特養）以外に、在宅やグループホームなどの介護施設と障害者施設などに拡大することで大筋で一致した。これを受け同省は10月をめどに、介護職員らを対象にしたモデル研修事業を実施する。

医療行為の主体は、介護福祉士やホームヘルパー、障害者施設で働く保育士などとする。可能となる医療行為は、たん吸引と胃にチューブで栄養補給する「経管栄養」に限定。本人、家族の同意を要件とし、安全確保のため、医師、看護師との連携や、担当者の研修を義務付ける。

### 障害者の雇用支援を強化 京の人材会社、中小企業に

京都新聞 2010年8月10日

京都の人材派遣会社が中小企業を対象にした障害者雇用の支援サービスを強化している。7月の障害者雇用促進法改正に伴う納付金制度の変更で、障害者雇用を義務付ける企業の対象範囲が広がったためだ。中小企業向けの雇用サービス拡充は障害者雇用の促進につながりそうだ。

改正前に対象ではなかった中小企業に障害者採用のノウハウがある企業は少ないため、ワコールキャリアサービス（京都市下京区）は障害者雇用の専門サイトを開設して総合サービスに乗り出した。

従来からの紹介業務にとどまらず、障害者雇用のセミナーや求人票の作成、助成金申請、合同説明会の開催、入社後の研修などきめ細かくフォローする。国の助成金を最大限利用できるよう、地域のハローワークを通じて採用を仲介する。

サービスは会員制で、費用は月5万円。同社は「中小の経営に納付金を与える影響は大きい。紹介業務に加えて積極的に利用してほしい」と話す。

障害者側の就職支援にも力を入れるオムロンパーソネル（下京区）は、障害がある学生向けに「就職活動ナビノート」を作成した。スケジュールの立て方や企業研究、障害の説明などを分かりやすくまとめた冊子で、障害のある学生向けの「就活支援セミナー」で配布している。次回は20日に本社で開く。

31日には2012年春の卒業予定者で障害者手帳を持つ学生を対象に、就職活動のスター

トセミナーを本社で開く。働くことについて考えてもらう講演や先輩の就職活動体験談の発表を行う。

制度改正を受け、企業向けに障害者雇用の助言サービスも強化しているといい、同社は「企業のハードルを下げてマッチングにつなげたい」としている。同社TEL075(344)0903。

#### ■障害者雇用納付金制度

常用労働者56人以上の企業に義務付けられている障害者雇用率(1.8%)の未達成企業が不足1人当たり月額5万円を納め、達成企業向けの報奨金や雇用促進の助成金に活用する仕組み。7月1日の障害者雇用促進法改正で制度の対象企業が常用労働者301人以上から200人超の企業に広がった。新しく対象になった企業には2015年6月末まで、1人当たり月額4万円とする減額特例がある。

### 釜山市、障害者199人を採用へ ロッテマートも各店舗で一人以上採用の方針

朝鮮日報日本語版 2010年8月10日

朝鮮日報社と韓国障害者開発院が共同で推進している「障害者雇用創出プロジェクト」に、釜山市とロッテマートが参加することになった。

釜山市は、同プロジェクトの中核となるウェブサイト「ドリーム・ジョブ・ワールド」を通じ、今年末までに障害者の職員199人を採用する、と発表した。具体的には、市庁の各室・局に一人ずつ、障害者のインターン職員を配置するとともに、市内81の社会福祉施設で一人ずつ、障害者のヘルパーを選抜し、また障害者の観光ガイド20人や、利便施設のモニタリング・スタッフなど80人を採用する計画だ。また、全職員の3.2%(386人)程度となっている障害者の比率を、2012年までに3.5%へ引き上げる方針も打ち出した。

許南植(ホ・ナムシク)釜山市長は、「公共機関はもとより、地元の企業や民間団体とも、協約を締結して、障害者の雇用キャンペーンに賛同するよう取り組んでいく」と述べた。

一方、ロッテマートも、「ドリーム・ジョブ・ワールド」を通じ、全国32店舗で、最低でも一人以上の障害者を採用する方針を打ち出した。ロッテマートのイ・イン Chol 経営支援部長は、「障害者を雇用し、健常者と一緒に働けるようになれば、十分満足できる水準だ」と語った。李仁烈(イ・インヨル)記者

たまには太陽の子・手をつなぐ、たまにはつなぐちゃんベクトル、たまにブログたまにはチェック



大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行